

都市再生整備計画事業 事後評価シート
羽島市中心市街地地区

平成28年3月

岐阜県羽島市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	岐阜県		市町村名	羽島市	地区名	羽島市中心市街地地区			面積	636ha			
交付期間	平成23年度～平成27年度		事後評価実施時期	平成27年度		交付対象事業費	1,374.7百万円	国費率	0.4				
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		基幹事業 公園事業(江吉良・舟橋)、地域生活基盤施設(耐震性貯水槽(大西公園・江吉良コミセン)、備蓄倉庫、公共施設耐震(市民会館・福祉サボセン・柔剣道道場・福寿コミセン・堀津コミセン) 土地区画整理事業(駅北本郷土地区画整理事業地区内) 提案事業 地域創造支援事業(上水道整備(駅北本郷土地区画整理事業地区内・江吉良地区)、ガス整備負担金、福寿小学校改修)		事業名		削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
	当初計画から削除した事業		基幹事業 - 提案事業 -		-		-		-				
	新たに追加した事業		基幹事業 道路事業(大垣一宮線交差点) 公園事業(駅北本郷地区(1号・福寿町)、駅北本郷地区及び隣接地(2号・福寿町)、駅前公園(福寿町・浅井)、舟橋公園(舟橋町宮北)) 地域生活基盤施設(耐震性貯水槽(観光交流センター)、公共施設耐震(地域交流センター)) 高次都市施設(観光交流センター) 既存建造物活用事業(地域交流センター、観光交流センター) 提案事業 地域創造支援事業(上水道整備(駅北本郷土地区画整理事業隣接地、平方地区)、防災訓練、歴史民俗資料館拡充、いきいき元気館耐震補強) まちづくり活動推進事業(公園ワークショップ)		大垣一宮線交差点: 区画整理事業により築造された都市計画道路に接続する交差点を改良し、交通の利便性を向上させるため追加。 公園事業: 快適な居住空間の創出のため追加。 耐震性貯水槽: 住宅密集地の防災対策のため追加。 公共施設耐震: 耐震補強計画の策定により追加。 観光交流センター: 既存の土蔵の改修に加え、休憩室、観光案内、体験コーナー等を備えた新設の建物を整備し、歴史文化の継承に努めるため追加。 地域交流センター: 既存施設を活用し、地域住民の新たな相互交流の場として用いるため追加。		大垣一宮線交差点: 安全で快適な居住空間に関する目標に資する事業であるが、指標については据え置く。 公園事業: 駅北本郷地区内または近接地にあり、駅北本郷地区の宅地化率にプラスの影響があるため、指標1の数値目標を上方修正。 耐震性貯水槽: 指標5「耐震性貯水槽の設置率」を追加。 公共施設耐震: 耐震化を図る対象施設を追加したため、指標2の数値目標を上方修正。 観光交流センター: 目標4「歴史的資産や街並みを生かした地域の交流施設を創出し、地域住民に歴史文化を継承する」及び指標4「歴史民俗資料館の利用者数」を追加。						
	交付期間の変更		当初	平成23年度～平成25年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		指標1: 公園施設を拡充したため、数値目標を上方修正した。 指標2: 整備対象施設を追加したため、数値目標を上方修正した。 指標3: 公園の整備面積が増加したため、数値目標を上方修正した。 指標4: 整備対象施設を追加したため、数値目標を上方修正した。 指標5: 事業を追加したため、数値目標を上方修正した。						
	変更		平成23年度～平成27年度										
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	基準年度	目標値	数値	目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ		
	指標1	駅北本郷地区の宅地化率	%	11%	H18	26%	H27	42	○	あり なし	土地区画整理事業による基盤整備や公園整備等による居住環境の向上が宅地化につながった。	平成28年5月	
	指標2	公共施設の耐震化率	%	50%	H23	83%	H27	87	○	あり なし	公共施設の耐震化を実施したため、数値目標を達成し、施設利用者の安全と災害時の緊急救援活動の場の確保につながった。	平成28年5月	
	指標3	江吉良舟橋地区の1人当たりの公園面積	m ² /人	2.8m ² /人	H23	5.5m ² /人	H27	5.7	○	あり なし	江吉良舟橋公園の全面供用を実施するため、数値目標を達成し、住民が集える憩いの場及び災害時の緊急救援活動の場の確保につながった。	平成28年5月	
	指標4	歴史民俗資料館の利用者数	人/年	12,184人/年	H22	12,550人/年	H27	13,164	2,718	○	あり なし	観光交流センターの整備、歴史民俗資料館の拡充及び土蔵の曳家、改築等の実施により、数値目標を達成し、地域住民への歴史文化の継承を促している。	平成28年5月
	指標5	耐震性貯水槽の設置率	%	64%	H22	85%	H27	85	○	あり なし	耐震性貯水槽の設置を進めたため、数値目標を達成し、災害時の自主防災組織による消火活動が可能となり、市民生活の安全性が向上した。		
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	基準年度	目標値	数値	目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ		
	その他の数値指標1	-											
	その他の数値指標2	-											
	その他の数値指標3	-											
4) 定性的な効果発現状況	公共施設の耐震化、公園及び耐震性貯水槽の整備により、災害時の避難場所、自主防災組織による消火活動が可能となった。また、防災訓練を実施することにより、地域住民の防災に対する意識と知識が向上し災害対応力が強化された。土地区画整理事業の推進により、駅北本郷地区において良好な宅地が整備され、地域の活性化につながった。今後は当地区の広域交通条件を活かし、商業系の企業の誘致を推進することで、さらなる地域の活性化を図る。												
5) 実施過程の評価	実施内容					実施状況					今後の対応方針等		
	モニタリング	歴史民俗資料館の利用者数のデータ収集によるモニタリング				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					引き続きデータ収集を実施し、施設の魅力向上の進捗を確認する。		
	住民参加プロセス	街づくり推進協議会(インター北土地区画整理事業) 2回開催 まちづくり委員会(駅北本郷土地区画整理事業) 12回開催 公園ワークショップの開催 3回開催				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					土地区画整理事業の進捗に伴う都市基盤整備の状況についての確認や、ワークショップで作成した計画案に基づく公園整備を実施し、住民参加型のまちづくりを行う。		
持続的なまちづくり体制の構築	街づくり推進協議会(インター北土地区画整理事業) まちづくり委員会(駅北本郷土地区画整理事業)				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					土地区画整理事業の整備状況の確認や整備方針等について、市及び各地区の地権者の代表者と協議を行い、まちづくり体制を継続する。			

都市再生整備計画事業 事後評価シート (添付書類)

(1) 成果の評価

- 添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無
- 添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(完成状況)
- 添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況
- 添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)により計測される効果発現の計測
- 添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

(2) 実施過程の評価

- 添付様式3-① モニタリングの実施状況
- 添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況
- 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

(3) 効果発現要因の整理

- 添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制
- 添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理
- 添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

(4) 今後のまちづくり方策の作成

- 添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制
- 添付様式5-② まちの課題の変化
- 添付様式5-③ 今後のまちづくり方策
- 添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見
- 添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画
- 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方
- 添付様式6-参考記述 今後、まちづくり交付金の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

(5) 事後評価原案の公表

- 添付様式7 事後評価原案の公表

(6) まちづくり交付金評価委員会の審議

- 添付様式8 まちづくり交付金評価委員会の審議

(7) 有識者からの意見聴取

- 添付様式9 有識者からの意見聴取

(1) 成果の評価

添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

	変更		変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標	●		-	目標4:歴史的資産や街並みを生かした地域の交流施設を創出し、地域住民に歴史文化を継承する。	目標4:中心地の町並みの保護に対する意識が高まっており、また緊急に保護すべき歴史資産等が発生しているため。
			-	目標5:耐震性貯水槽の設置により、災害時の自主防災組織による活動の場を確保する。	目標5:事業の追加を行い耐水性貯水槽を設置するため。
B. 目標を定量化する指標	●		-	指標4:歴史民俗資料館の利用者数	指標4:追加した目標4を評価する指標が必要なため。
			-	指標5:耐水性貯水槽の設置率	指標5:追加した目標5を評価する指標が必要なため。
C. 目標値	●		【指標1】駅北本郷地区の宅地化率:25%	【指標1】駅北本郷地区の宅地化率:26%	指標1:公園整備を充実させたことにより宅地化率を上方修正したもの。
			【指標2】公共施設の耐震化率:80%	【指標2】公共施設の耐震化率:83%	指標2:対象施設を追加したことにより耐震化率を上方修正したもの。
			【指標3】江吉良舟橋地区の1人当たりの公園面積:3.0㎡/人	【指標3】江吉良舟橋地区の1人当たりの公園面積:5.5㎡/人	指標3:公園の整備面積が増加したことにより上方修正したもの。
D. その他(計画区域の拡大) (事業期間の延長)	●		計画区域:595ha	計画区域:636ha	まちづくり活動推進事業の防災訓練について、対象者を地区内居住者としているため対象となる住民が含まれるように対象地域の拡大を行った。
			事業期間:平成23年度～平成25年度	事業期間:平成23年度～平成27年度	既存建造物活用事業の観光交流センターの事業実施において、歴史民俗資料館北側の用地取得が遅れ期間内の完成が困難となったため、交付期間を延長した。

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
道路	大垣一宮線交差点	—	—	11	80m	土地区画整理事業で整備した都市計画道路との交差点部分を合わせて改良するため事業の追加	駅北本郷地区の宅地化率の指標に関連するが、指標及び数値目標は据え置く。	●	
公園	江吉良・舟橋	280	16,552㎡	411	17,931㎡	都市再生整備計画の事業期間の2ヵ年延伸により、部分完成見込みから、全体完成となることによる事業費、事業量及び事業期間の増加	公園の整備面積が増加したため、江吉良舟橋地区の1人当たりの公園面積の数値目標を上方修正する。		●
公園	駅北本郷地区(1号・福寿町)	—	—	48	2,850㎡	都市再生整備計画の事業期間の2ヵ年延伸による事業の追加	公園整備により、駅北本郷地区の居住環境が向上するため、駅北本郷地区の宅地化率の数値目標を上方修正する。		●
公園	駅北本郷地区及び隣接地(2号・福寿町)	—	—	59	4,199㎡	都市再生整備計画の事業期間の2ヵ年延伸による事業の追加	公園整備により、駅北本郷地区の居住環境が向上するため、駅北本郷地区の宅地化率の数値目標を上方修正する。	●	
公園	駅前公園(福寿町浅平)	—	—	8	1,652㎡	都市再生整備計画の事業期間の2ヵ年延伸による事業の追加	公園整備により、駅北本郷地区の居住環境が向上するため、駅北本郷地区の宅地化率の数値目標を上方修正する。		●
公園	舟橋公園(舟橋町宮北)	—	—	8	1,844㎡	都市再生整備計画の事業期間の2ヵ年延伸による事業の追加	公園整備により、駅北本郷地区の居住環境が向上するため、駅北本郷地区の宅地化率の数値目標を上方修正する。		●
河川									
下水道									
駐車場有効利用システム									
地域生活基盤施設	耐震性貯水槽 大西公園	16	—	11	—	他事業を優先的に実施するため、事業実施年度を翌年に変更	事業内容に変更がないため、目標及び指標への影響はなし。	●	
地域生活基盤施設	耐震性貯水槽 江吉良コミセン	16	—	11	—		事業内容に変更がないため、目標及び指標への影響はなし。	●	
地域生活基盤施設	耐震性貯水槽 観光交流センター	—	—	12	—	住宅密集地の防災対策として、観光交流センターの整備に合わせて整備を行うため、事業の追加	事業の追加とともに、目標5「耐震性貯水槽の設置により、災害時の自主防災組織による活動の場を確保する」を設定する。耐震性貯水槽の設置率の目標を評価するために、耐震性貯水槽の設置率の指標を設定する。	●	
地域生活基盤施設	備蓄倉庫	6	—	4	—	他事業を優先的に実施するため、事業量(箇所)の減少 観光交流センターの整備に合わせて事業を実施するため、事業年次を変更	目標及び指標への影響はなし。		●
地域生活基盤施設	公共施設耐震 市民会館	91	—	117	—	当初予定に追加して、工事が必要となったため、事業費及び事業量の増加 事業期間の精査による事業期間の減少	事業内容に変更がないため、目標及び指標への影響はなし。	●	
地域生活基盤施設	公共施設耐震 福祉サポセン	21	—	3	—	工事内容の変更による事業費の減少	事業内容に変更がないため、目標及び指標への影響はなし。	●	

地域生活基盤施設	公共施設耐震 柔剣道道場	24	—	14	—	耐震補強計画作成の結果、事業費及び事業量の減少 事業期間の精査による事業期間の減少	事業内容に変更がないため、目標及び指標への影響はなし。	●	
地域生活基盤施設	公共施設耐震 福寿コミセン	4	—	3	—		事業内容に変更がないため、目標及び指標への影響はなし。	●	
地域生活基盤施設	公共施設耐震 堀津コミセン	4	—	4	—		事業内容に変更がないため、目標及び指標への影響はなし。	●	
地域生活基盤施設	公共施設耐震 地域交流センター	—	—	6	—	既存建造物について、耐震工事を行い、災害時の拠点としても活用するため、事業の追加	耐震化する対象施設を新たに追加したため、公共施設の耐震化率の数値目標を見直す。	●	
高質空間形成施設									
高次都市施設	観光交流センター	—	—	57	—	既存の蔵を改築した建物の付属建物として、休憩室、トイレ等を備えた新設の建物を整備するため、事業の追加	事業実施により、歴史民俗資料館の利用者増につながると見込まれるため、歴史民俗資料館の利用者数の数値目標を見直す。	●	
既存建造物活用事業	地域交流センター	—	—	67	—	土地区画整理事業の進捗により区域内の世帯が増加することに伴い、既存施設を活用し、地域住民が広く活用できる施設を整備するため、事業の追加	駅北本郷地区の宅地化率の指標に関連するが、指標及び数値目標は据え置く。	●	
既存建造物活用事業	観光交流センター	—	—	29	—	中心部に残る古い蔵を活用して、新たな交流空間を創出し、歴史文化の継承に努めるため、事業の追加	事業追加とともに新規に盛り込んだ目標を評価するため、歴史民俗資料館の利用者数の指標を設定する。	●	
都市再生交通拠点整備事業									
土地区画整理事業(都市再生)	駅北本郷土地区画整理事業地区内生)	240	23.3ha	227	23.3ha	補償交渉等の関係から計画期間中に一部工事を実施できなかったため、事業費の減少 補償交渉の継続により事業期間の増加	駅北本郷地区の宅地化率の指標に関連するが、指標及び数値目標は据え置く。	●	
住宅市街地総合整備事業									

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地区再開発事業									
バリアフリー環境整備事業									
優良建築物等整備事業									
住宅市街地総合整備事業									
街なみ環境整備事業									
住宅地区改良事業等									
都心共同住宅供給事業									
公営住宅等整備									
都市再生住宅等整備									
防災街区整備事業									

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

提案事業

事業	細項目	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地域創造 支援事業	上水道整備(駅北本郷土地区画整理 事業地内)	80	23.3ha	64	23.3ha	当初地区内工事のみであった部分を 一部隣接地に変更したこと等によ り、事業費の減少 駅北本郷土地区画整理事業の事 業期間に合わせ、事業期間の増加	駅北本郷地区の宅地化率の指標に関連するが、指標及び数値目 標は据え置く。		●
	ガス整備負担金	20	23.3ha	15	23.3ha	駅北本郷土地区画整理事業の事 業期間に合わせて、事業期間の増 加	事業内容に変更がないため、目標及び指標への影響はなし。	●	
	上水道整備(江吉良地区)	45	-	59	-	事業の実施期間の精査により、事 業年次の変更及び事業期間の増 加	事業内容に変更がないため、目標及び指標への影響はなし。	●	
	上水道整備(駅北本郷土地区画整理 事業隣接地)	-	-	6	200m	土地区画整理事業地区内で設置し た上水道と接続し、安定した水道の 供給を確保するため、事業の追加	駅北本郷地区の宅地化率の指標に関連するが、指標及び数値目 標は据え置く。	●	
	福寿小学校改修	37	1箇所	29	1箇所		事業内容に変更がないため、目標及び指標への影響はなし。	●	
	防災訓練	-	-	1	-				
	歴史民俗資料館拡充	-	-	23	-	観光交流センターの付属建物とし て、歴史民俗資料館の拡充整備を するため、事業の追加	歴史民俗資料館が拡充されることにより、利用者数の増加が見込 まれるため、利用者数の指標の数値目標を見直す。		●
	いきいき元気館耐震補強	-	-	8	-	災害に備え、公共施設の耐震化を 行うため、事業の追加	事業の実施により、耐震化する公共施設が増加するため、耐震化 率の指標の数値目標を見直す。		●
	上水道整備	-	-	50	-	上水道管の耐震化を行うことで、災 害時の上水道の安定供給をできる ようにするため、事業の追加	本事業は目標2「公共施設の耐震化により、住民が安心して利用で きる施設を整備すると同時に、災害時における緊急活動の場を確 保する」に資するが、指標及び数値目標への影響はなし。		●
事業活用調査									
まちづくり 活動推進事業	公園ワークショップ	-	-	11	3箇所	区画整理事業地区内及び隣接する 公園について、地域住民のニーズ を反映するため、事業の追加	駅北本郷地区の宅地化率の指標に関連するが、指標及び数値目 標は据え置く。	●	

※1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

(参考)関連事業

事業	細項目	事業箇所名	事業費		事業期間		進捗状況及び所見	備考
			当初計画	最終変更計画	当初計画	最終変更計画		
岐阜羽島駅周辺バリアフリー化		岐阜羽島駅周辺	43	43	平成21年度～平成24年度	平成21年度～平成24年度	事業が完了し、岐阜羽島駅周辺の利便性が向上した。	
インター北土地区画整理事業		インター北地区	3,570	4,160	平成13年度～平成23年度	平成13年度～平成28年度	平成28年度完了予定	
駅北本郷土地区画整理事業		駅北本郷地区	2,240	3,261	平成19年度～平成26年度	平成19年度～平成29年度	平成29年度完了予定	

添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指標	単位	データの計測手法と評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		目標値 (ウ)		数値(エ)			目標達成度※2		1年以内の達成見込みの有無		
			基準年度	基準年度	基準年度	基準年度	目標年度	目標年度	モニタリング	事後評価	確定見込み	達成率	達成度	あり	なし	
指標1	駅北本郷地区の宅地化率	%	—	—	11	H18	26	H27	モニタリング	—	—	モニタリング	—	—	—	—
									事後評価	確定見込み ●	42	事後評価	○			
指標2	公共施設の耐震化率	%	—	—	50	H23	83	H27	モニタリング	—	—	モニタリング	—	—	—	—
									事後評価	確定見込み ●	87	事後評価	○			
指標3	江吉良舟橋地区の1人当たりの公園面積	m ² /人	—	—	2.8	H23	5.5	H27	モニタリング	—	—	モニタリング	—	—	—	—
									事後評価	確定見込み ●	5.7	事後評価	○			
指標4	歴史民俗資料館の利用者数	人/年	—	—	12,184	H22	12,550	H27	モニタリング	H25	13,164	モニタリング	○			
									事後評価	確定見込み ●	12,718	事後評価	○			
指標5	耐震性貯水槽の設置率	%	—	—	64	H22	85	H27	モニタリング	—	—	モニタリング	—	—	—	—
									事後評価	確定見込み ●	85	事後評価	○			

指標	目標達成度○△×の理由 (達成見込み「あり」とした場合、その理由も含む)	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)
指標1	駅北本郷土地区画整理事業の道路・公園等公共施設の整備改善と周辺の公園施設の整備により、宅地利用の増進及び事業地内の保留地購入状況が良好であり、目標値を超えたため、目標は達成したと判断した。	【地区面積】232,692.34m ² 【公共用地】従前:25,049.56m ² 目標:68,043.07m ² 従後:67,967.02m ² 【宅地面積】従前:23,694.22m ² 目標:43,106.95m ² 従後:69,513.86m ²
指標2	公共施設10棟の耐震化を実施し、目標値を超えたため、目標は達成したと判断した。	【全棟数】従前:22棟 目標:24棟 従後:24棟 【耐震化済棟数】従前:11棟 目標:20棟 従後:21棟
指標3	公園整備が進み、来年度より江吉良舟橋公園の全域供用を開始できることから、最終年度末に目標値を達成する見込みであるため、目標は達成したと判断した。	【江吉良・舟橋人口】従前:5,723人 目標:6,047人 従後:5,988人 【公園面積】従前:16,210m ² 目標:33,424m ² 従後:34,141m ²
指標4	平成25年度までは、従前値を下回る傾向にあったが、平成25年度以降は従前値以上の利用者数を確保しており、最終年度末に目標値を達成する見込みであるため、目標を達成したと判断した。	
指標5	耐震性貯水槽を3基設置し、目標値を超えたため、目標は達成したと判断した。	【設置予定箇所】従前:14箇所 目標:14箇所 従後:14箇所 【設置箇所】従前:9箇所 目標:12箇所 従後:12箇所

※1 計画以前の値とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

※2 目標達成度の記入方法

○:評価値が目標値を上回った場合

△:評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合

×:評価値が目標値に達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合

添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測

指標	単位	データの計測手法と評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		数値(ウ)	本指標を取り上げる理由	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)
			基準年度		基準年度				
その他の数値指標1							モニタリング		
							事後評価		
その他の数値指標2							モニタリング		
							事後評価		
その他の数値指標3							モニタリング		
							事後評価		

※1 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

羽島市地域防災計画に基づく公共施設の耐震化、公園及び耐震性貯水槽の整備により、災害時の避難場所、自主防災組織による消火活動が可能となった。また、防災訓練を行うことにより、地域住民の防災に対する意識と知識が向上し、住民の災害対応力が強化された。
土地区画整理事業の推進により、駅北本郷地区において良好な宅地が整備され、地域の活性化につながった。今後は当地区の広域交通条件を活かし、商業系の企業の誘致を推進することで、さらなる地域の活性化を図る。

(2) 実施過程の評価

・本様式は、都市再生整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること。

添付様式3-① モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
歴史民俗資料館の利用者数のデータ収集によるモニタリング	予定どおり実施した	● 【実施頻度】毎月1回 【実施時期】翌月初旬 【実施結果】平成23、24年度は、従前値を下回る利用者数であったが、平成25年以降は従前値を上回る利用者数を確認している。毎月の利用者数を集計しているため、各月の利用者数の傾向を把握することができている。	引き続きデータ収集を実施し、施設の魅力向上の進捗を確認する。
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		

添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
公園ワークショップの開催	予定どおり実施した	● 【実施頻度】計画期間中3回 【実施時期】平成24年9月～12月 【実施結果】駅北本郷土地区画整理事業地内の3つの公園について住民同士が議論し、それぞれのテーマを持った整備プランを作成した。	次期計画での整備を視野にいれ、引き続き、ワークショップで作成した計画案に基づく公園整備を実施する。
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		
街づくり推進協議会（インター北土地区画整理事業）	予定どおり実施した	● 【実施頻度】計画期間中2回 【実施時期】平成23年8月、平成26年10月 【実施結果】今後のまちづくりの方針について確認することができた。	今後も土地利用及び整備方針について、市及び各地区の地権者の代表者にて、段階的に協議会等を行い、まちづくりに関する意見聴取の場を設け、協議内容を今後のまちづくりの方針に活用する。
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		
まちづくり委員会（駅北本郷土地区画整理事業）	予定どおり実施した	● 【実施頻度】計画期間中12回 【実施時期】平成23年度 3回、平成24年度 3回、平成25年度 3回、平成26年度 2回、平成27年度 1回 【実施結果】今後のまちづくりの方針について確認することができた。	今後も土地利用及び整備方針について、市及び各地区の地権者の代表者にて、段階的に協議会等を行い、まちづくりに関する意見聴取の場を設け、協議内容を今後のまちづくりの方針に活用する。
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		

添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	構築状況	実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
		i. 体制構築に向けた取組内容	ii. まちづくり組織名・組織の概要	
街づくり推進協議会（インター北土地区画整理事業）	予定どおり実施した	● 今後のまちづくりのあり方について、行政と住民との間で意見交換を行った。	街づくり推進協議会	交付期間終了後も、土地利用及び整備方針等について、市及び各地区の代表者にて協議を行い、まちづくり体制を継続する。
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由)			
まちづくり委員会（駅北本郷土地区画整理事業）	予定どおり実施した	● 今後のまちづくりのあり方について、行政と住民との間で意見交換を行った。	まちづくり委員会	交付期間終了後も、土地利用及び整備方針等について、市及び各地区の代表者にて協議を行い、まちづくり体制を継続する。
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由)			

(3) 効果発現要因の整理

添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
都市再生整備計画検討会議	区画整理課	平成27年8月18日	区画整理課

添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標1	指標2	指標3	指標4	指標5
指標名		駅北本郷地区の宅地化率	公共施設の耐震化率	江吉良舟橋地区の1人当たりの公園面積	歴史民俗資料館の利用者数	耐震性貯水槽の設置率
種別	事業名・箇所名	指標改善への貢献度 総合所見	指標改善への貢献度 総合所見	指標改善への貢献度 総合所見	指標改善への貢献度 総合所見	指標改善への貢献度 総合所見
基幹事業	道路(大垣一宮線交差点)公園(江吉良舟橋)	○	—	—	—	—
	公園(駅北本郷地区)	○	—	◎	—	—
	公園(駅北本郷地区及び隣接地)	○	—	—	—	—
	公園(駅前公園)	○	—	—	—	—
	公園(舟橋公園)	○	—	—	—	—
	地域生活基盤施設(耐震性貯水槽 大西公園)	—	—	—	—	—
	地域生活基盤施設(耐震性貯水槽 江吉良コミセン)	—	—	—	—	—
	地域生活基盤施設(耐震性貯水槽 観光交流センター)	—	—	—	—	—
	地域生活基盤施設(備蓄倉庫)	—	—	—	—	—
	地域生活基盤施設(公共施設耐震 市民会館)	○	◎	—	—	—
	地域生活基盤施設(公共施設耐震 福祉サポセン)	—	◎	—	—	—
	地域生活基盤施設(公共施設耐震 柔剣道場)	—	◎	—	—	—
	地域生活基盤施設(公共施設耐震 福寿コミセン)	○	◎	—	—	—
	地域生活基盤施設(公共施設耐震 堀津コミセン)	—	◎	—	—	—
	地域生活基盤施設(公共施設耐震 地域交流センター)	○	◎	—	—	—
	高次都市施設(観光交流センター)	—	—	—	◎	—
	既存建造物活用事業(地域交流センター)	○	—	—	◎	—
既存建造物活用事業(観光交流センター)	—	—	—	◎	—	
土地区画整理事業(駅北本郷土地区画整理事業地区内)	◎	—	—	—	—	
提案事業	地域創造支援事業(上水道整備 駅北本郷土地区画整理事業地区内)	◎	—	—	—	—
	地域創造支援事業(ガス整備負担金 駅北本郷土地区画整理事業地区内)	◎	—	—	—	—
	地域創造支援事業(上水道整備 江吉良地区)	—	—	—	—	—
	地域創造支援事業(上水道整備 駅北本郷土地区画整理事業隣接地)	○	—	—	—	—
	地域創造支援事業(福寿小学校改修 福寿小学校)	○	◎	—	—	—
	地域創造支援事業(防災訓練 福寿地区)	○	—	—	—	—
	地域創造支援事業(歴史民俗資料館拡充 歴史民俗資料)	—	—	—	◎	—
	地域創造支援事業(いきいき元気館耐震補強 いきいき元気)	—	◎	—	—	—
	地域創造支援事業(上水道整備 平方地区)	—	—	—	—	—
	まちづくり活動推進事業(公園ワークショップ 福寿地区)	○	—	—	—	—
関連事業	岐阜羽島駅周辺バリアフリー化(岐阜羽島駅周辺)	○	—	—	—	—
	インター北土地区画整理事業(インター北地区)	○	—	—	—	—
	駅北本郷土地区画整理事業(駅北本郷地区)	◎	—	—	—	—

※指標改善への貢献度
 ◎：事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。
 ○：事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。
 △：事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。
 —：事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

今後の活用	指標1	指標2	指標3	指標4	指標5
引き続き、駅北本郷土地区画整理地内の公共施設の整備を進め、周辺地区への商業、業務施設の誘致に注力することで宅地化率の増大を図る。	耐震化された公共施設に防災機能を付与し、避難所としての役割を持たせることで、地域の防災性の強化を図る。	当エリア内で予定されている土地区画整理事業での公園の整備を進め、中心市街地内における1人当たりの公園面積の増加を図る。	当施設及び周辺施設におけるイベント開催や、当市歴史遺産の周知活動の強化により、利用者数の増大を図る。	耐震性貯水槽の利用体験を行うことで、貯水槽の防災性を周知し、住民の安心感を高める。	

添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種類		指標○			指標○			指標○			指標○		
指標名													
種別	事業名・箇所名	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類
基幹事業													
提案事業													
関連事業													

※目標未達成への影響度
 ××：事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の直接的な原因となった。
 ×：事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の間接的な原因となった。
 △：数値目標が達成できなかった中でも、ある程度の効果をあげたと思われる。
 -：事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

※要因の分類
 分類Ⅰ：内的な要因で、予見が可能な要因。
 分類Ⅱ：外的な要因で、予見が可能な要因。
 分類Ⅲ：外的な要因で、予見が不可能な要因。
 分類Ⅳ：内的な要因で、予見が不可能な要因。

改善の方針 (記入は必須)				

(4) 今後のまちづくり方策の作成

添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
都市再生整備計画検討会議	区画整理課	平成27年8月18日	区画整理課

添付様式5-② まちの課題の変化

事業前の課題 都市再生整備計画に記載 したまちの課題	達成されたこと(課題の改善状況)	残された未解決の課題	事業によって発生した 新たな課題
安全で快適な居住環境の形成と地域交流の拠点となる施設の創出	公園整備が進んだことで、憩いの場としての安全で快適な居住環境の形成が促進された。	更なる宅地利用の増進を進めるため、本計画からは見送った駅北本郷3号街区公園を整備し、地域住民の利便性、快適性の向上を図る。	防災施設利用時の快適性及び利便性の向上のため、指定緊急避難場所に指定される公園や防災備蓄倉庫の設備を整備することが必要となる。 駅北本郷土地区画整理事業地内の未整備の公共施設の整備を進め、事業の早期完了を目指す必要がある。
良好な都市的環境の整備	駅北本郷土地区画整理事業の道路・公園等公共施設の整備改善と周辺の公園施設の整備により、宅地利用の増進及び事業地内の保留地購入状況が良好である。	人口流出を防ぐため、引き続き、土地区画整理事業を推進し、中心市街地の活性化を目指していく。	
大規模災害への対応	公共施設の耐震化、公園整備による避難場所の確保により、住民が活用する施設の安全性が改善されている。	引き続き、防災力の向上に取り組むことで、自然災害から市民を守り、安全に暮らせるまちを形成する。	

これを受けて、成果の持続にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③A欄に記入します。

これを受けて、改善策にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③B欄に記入します。

添付様式5-③ 今後のまちづくり方策

	効果の持続を図る事項	効果を持続させるための基本的な考え方	想定される事業
A欄 効果を持続させるため に行う方策	快適な居住環境の形成	良好な都市的環境の整備と交流機能を有した市街地の形成を図り、人口流出を防ぐ。	・市民と協働した交流イベントの実施 ・土地区画整理事業の推進
	宅地利用の増進	引き続き、宅地利用の増進を図り、事業地内の保留地を販売していく。	・保留地情報の広告 ・事業施行区域周辺の公園等の整備
	住民が活用する施設の安全性の向上	防災施設内の設備を整備し、防災施設の快適性及び利便性を向上させる。	・防災備蓄倉庫整備 ・公園内の休憩所の整備

	改善する事項	改善策の基本的な考え方	想定される事業
B欄 改善策 ・未達成の目標を達成するための改善策 ・未解決の課題を解消するための改善策 ・新たに発生した課題に対する改善策	災害時に防災拠点となる環境の整備	災害時に防災拠点となる環境を整え、災害に強く安全性の高いまちづくりを図る。	・駅北本郷街区公園3号の整備
	市民が安全に暮らすための防災力の向上	緊急救援活動を円滑に取り組むため、公共用地率向上によりオープンスペースを確保する。	・土地区画整理事業の実施

フォローアップ又は次期計画等
において実施する改善策
を記入します。

なるべく具体的に記入して下さい。

■様式5-③の記入にあたっては、下記の事項を再確認して、これらの検討結果を踏まえて記載して下さい。(チェック欄)

●	交付金を活用するきっかけとなったまちづくりの課題(都市再生整備計画)を再確認した。
●	事業の実施過程の評価(添付様式3)を再確認した。
●	数値目標を達成した指標にかかる効果の持続・活用(添付様式4-②)を再確認した。
●	数値目標を達成できなかった指標にかかる改善の方針(添付様式4-③)を再確認した。
●	残された課題や新たな課題(添付様式5-②)を再確認した。

添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見

本計画により実施した施設整備やソフト事業をきっかけに、羽島市中心市街地における防災施設及び駅北本郷土地区画整理事業の整備率が大幅に向上しており、羽島市中心市街地における安全安心で快適な居住環境の提供をした取り組みは、市内他地域へも応用していくことができると考える。

添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画

- ・フォローアップの要否に関わらず、添付様式2-①、2-②に記載した全ての指標について記入して下さい。
- ・従前値、目標値、評価値、達成度、1年以内の達成見込みは添付様式2-①、2-②から転記して下さい。

・評価値が「見込み」の全ての指標、目標達成度が△又は×の指標、1年以内の達成見込み「あり」の指標について、確定値を求めるためのフォローアップ計画を記入して下さい。

指標		単位	従前値		目標値		評価値		目標達成度	1年以内の達成見込みの有無	フォローアップ計画			
			年度	年度	年度	年度					予定時期	計測方法	その他特記事項	
指標1	駅北本郷地区の宅地化率	%	11	H18	26	H27	確定 見込み ●	42	○	あり なし	→	平成28年5月	平成27年度末の宅地の総面積の集計結果から宅地化率を算出する。	平成28年4月末までには、平成27年度末(評価基準日)における宅地の総面積が確定することから、それにより確定値とする。
指標2	公共施設の耐震化率	%	50	H23	83	H27	確定 見込み ●	87	○	あり なし	→	平成28年5月	平成27年度末の耐震化済み公共施設の集計結果から耐震化率を算出する。	平成28年4月末までには、平成27年度末(評価基準日)における耐震化率が確定することから、それにより確定値とする。
指標3	江吉良舟橋地区の1人当たりの公園面積	m ² /人	2.8	H23	5.5	H27	確定 見込み ●	5.7	○	あり なし	→	平成28年5月	平成27年度末の江吉良舟橋地区の人口及び公園面積の集計結果から1人当たりの公園面積を算出する。	平成28年4月末までには、平成27年度末(評価基準日)における公園面積が確定することから、それにより確定値とする。
指標4	歴史民俗資料館の利用者数	人/年	12,184	H22	12,550	H27	確定 見込み ●	12,718	○	あり なし	→	平成28年5月	平成27年度の「入館者等調」により年間入館者数を把握する。	平成28年4月末までには、平成27年度末(評価基準日)における年間入館者数が確定することから、それにより確定値とする。
指標5	耐震性貯水槽の設置率	%	64	H22	85	H27	確定 見込み ●	85	○	あり なし	→			
その他の数値指標1				H			確定 見込み				→			
その他の数値指標2				H			確定 見込み				→			
その他の数値指標3				H			確定 見込み				→			

添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方

・下表の点について、特筆すべき事項を記入します。

項目		要因分析	次期計画や他地区への活かし方
数値目標 ・成果の達成	うまくいった点	一部指標でモニタリングを実施したことにより、交付期間途中で事業の効果を確認することができた。	毎年データを算出できる指標を設定することでモニタリングが容易になる。
	うまくいかなかった点		
数値目標と 目標・事業との 整合性等	うまくいった点		アウトカムの指標を掲げることで、関連する事業に広がりがうまれる。
	うまくいかなかった点	「公共施設の耐震化率」、「江吉良舟橋地区の1人当たりの公園面積」、「耐震性貯水槽の設置率」は、公共施設の整備に伴い当然に実績が生じるものであり、関連する事業の多様性がなかった。	
住民参加 ・情報公開	うまくいった点	ワークショップの実施により、市民と協働の公園整備を実施することができた。	次期計画での整備を視野にいれ、引き続き、ワークショップで作成した計画案に基づく公園整備を実施する。
	うまくいかなかった点		
PDCAによる事業 ・評価の進め方	うまくいった点		事業の追加等を行う際は、目標との整合性を精査する。
	うまくいかなかった点	事業期間中に追加したが最終的に削除となる事業が複数見られた。	
その他	うまくいった点		
	うまくいかなかった点		

添付様式6ー参考記述 今後、まちづくり交付金の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

・今後の交付金の活用予定

当地区において、交付期間内に追加と削除を行った事業を実施するとともに、さらに地域の安全安心を高める事業費等が必要である。今回事業量が減となった事業について、引き続き整備を行うために次期計画を策定していく。

(5) 事後評価原案の公表

添付様式7 事後評価原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法	担当部署
インターネット	羽島市ホームページに掲載	平成27年10月6日～平成27年11月5日	平成27年10月6日～平成27年11月5日	郵送、FAX、電子メール、持参	建設部区画整理課
広報掲載・回覧・個別配布	羽島市ホームページに公表する旨を広報に掲載	10月号に掲載	平成27年10月6日～平成27年11月5日		
説明会・ワークショップ	—	—	—		
その他	市役所窓口・市内のコミュニティセンターにて配布	平成27年10月6日～平成27年11月5日	平成27年10月6日～平成27年11月5日		

住民の意見	<p>事後評価シートについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様式2-1について、いくつかの表に分けて記載した方が分かりやすいのではないかと。 ・指標1について、駅北本郷地区の総面積、公共用地面積、宅地面積をそれぞれ示した上で、宅地化率を示した方が分かりやすいのではないかと。また、目標値の設定根拠を示した方が分かりやすいのではないかと。 ・指標2について、地区内の公共施設数、耐震化施設数を示した上で、耐震化率を示した方が分かりやすいのではないかと。 ・指標3について、目標値の設定根拠を示した方が分かりやすいのではないかと。 ・指標4について、本指標の達成目標として、歴史民俗資料館の利用者数が妥当か。また、目標値が低すぎたのではないかと。 ・指標5について、地区内の耐震性貯水槽の数を示した上で、耐震化率を示した方が分かりやすいのではないかと。 <p>来年度以降の都市再生整備計画事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岐阜羽島駅周辺のにぎわいを創出するために、それに関連する目標を定量化する指標を設定して、都市再生整備計画をしてもらいたい。 ・現在の羽島市の都市再生整備計画には、交通の整備関連が記載されていないが、他の計画書(羽島市地域公共交通網形成計画)では岐阜羽島駅の整備事業(交通結節点整備事業)があげられているので、他の計画書と連動する形で交通の整備に関する事業も記載してほしい。 ・今回の計画では、宅地・道路・公園と居住環境の改善がメインとなっているため、今後は国土交通省が導入している地方都市リノベーション事業を行い、地方都市リノベーション推進施設・生活拠点施設を建設してほしい。 ・高次都市施設(観光・地域交流センター等)や高質空間形成施設(歩道・照明施設等)や地域生活基盤施設(情報板等)などを整備して中心市街地の再生をはかってもらいたい。 ・岐阜羽島駅周辺に公園を整備してもらいたい。 ・区画整理事業の保留地が長年にわたり売れ残っているため、民間に売買に関する委託をするなど、保留地をすばやく処分するよう取り組んでもらいたい。 ・岐阜羽島駅周辺は区画整理事業で整備が進んでおりますが、岐阜羽島駅前には駐車場、空き地・空き店舗が目立ち、無秩序な開発が乱立しており、特に駐車場は飽和状態にあるので、地権者と交渉して企業が進出できるような環境づくりが急務と感ずるため、いわゆる駅前再開発事業が必要だと思っております。
-------	---

(6) まちづくり交付金評価委員会の審議

添付様式8 まちづくり交付金評価委員会の審議

委員構成		実施時期	担当部署	委員会の設置根拠	委員会の母体組織
学識経験のある委員	岐阜大学工学部社会基盤工学科准教授 インター北、駅北本郷土地区画整理審議会委員	平成27年11月24日	羽島市役所 区画整理課	羽島市都市再生整備計画評価委員会設置要綱	羽島市役所
その他の委員	山田俊郎 宇野隆夫 飯田智美 奥田玲子 古野恵美子 不破さゆり				

審議事項※1		委員会の意見
事後評価手続き等にかかる審議	方法書	方法書に従って、事後評価が適正に行われたことが確認された。
	成果の評価	指標の目標値は全て達成され、数字上だけでなく、実際にその地域に住んでいる委員も効果を実感できていることが確認できた。
	実施過程の評価	公園ワークショップや各区画整理事業のまちづくりに関する委員会の実施が事業の効果発現に寄与している。
	効果発現要因の整理	効果発現要因について、各指標ごとに整理され、これらを今後のまちづくりへ繋げていくことが確認された。
	事後評価原案の公表の妥当性	インターネットや広報により、適切に公表されたことが確認された。
	その他	特になし
	事後評価の手続きは妥当に進められたか、委員会の確認	事後評価の手続き及び内容は妥当であると認められた。
今後のまちづくりについて審議	今後のまちづくり方策の作成	区画整理事業をどんどん進めて、早急の完了を目指してほしい。 歴史民俗資料館について、映画に特化させたり、観光交流センターもできるので、月1回、イベントを行ったりするなど、周辺の方々のまちづくりに対する思いを熱くするような取組みを行った方がよい。 公園を作る際に、災害が起こった時のための、マンホールの仮設のトイレや、炊き出しにできるようなベンチなどを作ってほしい。 普段の生活では、まちづくりに係わるということがなかなかないので、今後も公園ワークショップのように、まちづくりに関して楽しく参加できる機会があるとよい。
	フォローアップ	フォローアップを実施して、その結果を公表することが確認された。
	その他	特になし
	今後のまちづくり方策は妥当か、委員会の確認	今後のまちづくり方策は妥当であると認められた。
その他		ハードルの高い指標は数字が下がってしまうと、結果として駄目という形になるが、まちづくりとしては設定を決めることそのものが非常に重要である。ただし、設定した以上、進めなくてはいけないので、今後は実際にそれが地域の人の交流の場として役に立ったかどうかというようなことを評価する指標とすることを検討した方がよい。

※1 審議事項の詳細は「まちづくり交付金評価委員会チェックシート」を参考にしてください。

都市再生整備計画(第7回変更)

はしましちゆうしんしがいちちく
羽島市中心市街地地区

ぎふけん はしまし
岐阜県 羽島市

平成27年12月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	岐阜県	市町村名	はしまし 羽島市	地区名	はしまし ちゅうしんしがいち、ちく 羽島市中心市街地地区	面積	636 ha
計画期間	平成 23 年度	～	平成 27 年度	交付期間	平成 23 年度	～	平成 27 年度

目標

- 都市型土地利用を誘導し、安全安心で快適な居住環境の提供を図る。
- 目標1: 土地区画整理事業による公共施設等の整備により、安全で快適な居住空間を創出する。
 - 目標2: 公共施設の耐震化により、住民が安心して利用できる施設を整備すると同時に、災害時における緊急救援活動の場を確保する。
 - 目標3: 公園整備により、住民が集える憩いの場を提供する。
 - 目標4: 歴史的資産や街並みを生かした地域の交流施設を創出し、地域住民に歴史文化を継承する。
 - 目標5: 耐震性貯水槽の設置により、災害時の自主防災組織による活動の場を確保する。

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

- 羽島市の人口は、緩やかな増加傾向にあり、住宅事情による転入超過が続いている。また、地形的に平坦であることから、一定規模の宅地化が進行し、無秩序な開発が懸念される。
- 本地区は市の市街化区域内に位置し、JR新幹線岐阜羽島駅や名神高速道路岐阜羽島インターチェンジを有するなど、中心市街地形成の一翼を担っている。
- 昭和38年に、岐阜羽島駅周辺の274haにおいて都市計画決定を実施し、土地区画整理事業施行区域を定め、現在までに171haが整備済、47haが整備中である。整備中の土地区画整理事業については、平成13年度からインター北土地区画整理事業(23ha)、平成19年度から駅北本郷土地区画整理事業(23ha)がそれぞれ事業認可され、円滑に事業を進めている。
- 平成15年12月に東南海・南海地震の防災対策推進地域に指定されたことによる、安全な避難所・避難路の確保及び建物の耐震化が必須となる。
- 地区内には、多くの公共施設(コミュニティセンター、サポートセンター)が点在しており、緊急避難場所に活用できるよう耐震改修が必要となっている。
- 災害時において迅速な対応ができるよう防火水槽等の防災施設の整備充実に努める必要がある。
- 都市計画決定区域内の都市基盤整備を順次実施してきたが、緊急車両の進入が困難な狭小な道路や避難場所となる公園が、未整備な地区が存在する。
- 駅東土地区画整理事業(60ha)を平成6年から施行し、平成18年度に事業が完了した。平成13年度にはインター北土地区画整理事業(23ha)、平成19年度には駅北本郷土地区画整理事業(23ha)に着手している。土地区画整理事業を通じて 計画的な整備を行い、有効的な土地利用を促進する。また、公共施設等の整備を充実させることにより、災害につよいまちを形成し、安全安心な居住空間を創出する。
- 駅北本郷土地区画整理事業による土地利用の向上に伴い、子育て世代を中心に人口の増加が見込まれるが、将来的に対象を支援及び相互交流できる施設のキャパシティが不足する恐れがある。
- 災害時における避難場所及び住民にとって憩いの場となる公園の整備が遅れている。
- 竹鼻地区には歴史情緒あふれる建物や街並みがあるが、経年劣化した建物や土蔵なども見られる。

課題

- 無秩序な開発を未然に防ぐために、土地区画整理事業を通じて良好な市街地の形成に努める。
- 駅東土地区画整理事業は平成18年3月をもって完了したが、引き続き公園の整備を実施することで、安全で快適な居住環境の形成に努める。
- 駅北本郷地区は商業及び住宅地としての市街化形成を目指し土地区画整理事業を実施している。継続的に事業を円滑に進め事業の早期完了を図る。
- 駅北本郷土地区画整理事業により土地利用が促進され人口の増加が見込まれる中で、子どもから老人まで幅広く利用できる地域交流の拠点となる施設の創出が求められる。
- 未整備の地区では道路が狭いため緊急車両の進入が困難で消防活動の遅れが懸念されている。このため、避難場所及び避難経路の確保が求められる。
- 東南海・南海地震等の災害に対応できる公共施設の耐震化が求められている。
- 公園整備を通じて、避難場所の確保及び憩いの場の提供が求められている。
- 歴史的な既存建築物を活用し、街並みに調和した交流施設の拡充が求められている。
- 災害対策のハード面の強化に伴い、地域住民の防災に対する意識と知識の向上が求められる。
- 災害時の住宅密集地における自主防災組織の活動、飲料水の確保のためのハード整備が求められている。

将来ビジョン(中長期)

- 大規模災害に対応するため、羽島市地域防災計画に基づいて、避難場所でもある公共施設の耐震化により安全性を確保する。
- 都市の防災力の向上をめざし、災害時における避難場所等の機能を持つオープンスペースを確保するため、道路・公園等の整備に努める。
- 上位計画において駅周辺土地区画整理事業に位置つけた274haのうち、施行済及び現在施行中の土地区画整理事業地区を新たな都市核と位置づけ、良好な都市的環境と交流機能を有した市街地の形成を図ることで人口の流出を防ぐ。
- 緩やかな人口増加傾向に伴い、宅地需要に対応できるよう土地区画整理事業を通じ、道路・公園等を同時期に整備することで良好な住居を形成する。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
1.駅北本郷地区の宅地化率	%	土地区画整理事業による宅地整備率の増加	土地区画整理事業による基盤整備の効果により、駅北本郷地区の宅地化を図る。	11%	平成18年度	26%	平成27年度
2.公共施設の耐震化率	%	地区内に点在する公共施設の耐震化率	公共施設を耐震化することにより、災害時における避難場所を確保する。また、住民が活用する施設としての安全性を高める。	50%	平成23年度	83%	平成27年度
3.江吉良舟橋地区の1人当たりの公園面積	m ² /人	江吉良舟橋地区内に居住する一人当たりの公園面積	潤いや憩いの場となる公園を整備することで、より安全性の高い居住環境を提供する。	2.8	平成23年度	5.5	平成27年度
4.歴史民俗資料館の利用者数	人/年	歴史民俗資料館の年間利用者数	歴史的資産を有効活用し、街並みを生かした地域の交流施設を拡充する。	12,184	平成22年度	12,550	平成27年度
5.耐震性貯水槽の設置率	%	地区内の人口密集地における耐震性貯水槽の設置率	耐震性貯水槽の設置により、災害時の自主防災組織による消火活動及び飲料水の確保が可能となり、市民生活の安全性が向上する。	64%	平成22年度	85%	平成27年度

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1(生活環境の向上)</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活の快適性向上に資する道路・公園及び施設の整備により、防災面が強化され安全性の高く良好な居住環境が形成される。 無秩序な開発を未然に防ぐために、土地区画整理事業を通して良好な市街地の形成に努める。 良好な都市的環境と交流機能を有した市街地の形成を図ることで人口の流出を防ぐ。 土地区画整理事業により配置された公園用地を活用し、施設等の整備をすることで憩いと安らぎの場を提供する。 土地区画整理事業により築造された都市計画道路に接続する交差点部分を合わせて改良し、事業の合理性と交通の利便性を向上させる 土地区画整理事業地区内で設置された上水道を接続し、安定した水道の供給を確保する。 小学校の耐震改修等の教育施設の更新により、子育て環境を向上させる。 地域住民の相互交流を目的とし、地域活性化の拠点施設として、コミュニティ活動を支える施設を整備する。 道路整備と併せて、上水ガスを一体的に整備することで、土地利用価値の高い居住環境を整備する。 道路整備により、旅行速度の増加が図られ、主要施設(市役所・名神高速道路岐阜羽島IC・JR新幹線岐阜羽島駅等)までの走行時間等の短縮が可能となる。 歴史ある土蔵を活用し、歴史民俗資料館を拡充することで、新たな交流空間を創出し、歴史文化の継承に努める。 	<p>【基幹事業】 道路(大垣―宮線交差点改良) 公園(羽島中央公園) 公園(駅北本郷街区公園1号) 公園(駅北本郷街区公園2号) 公園(駅前公園) 公園(舟橋公園) 土地区画整理事業(駅北本郷土地区画整理事業) 既存建造物活用事業(地域交流センター) 高次都市施設(観光交流センター) 既存建造物活用事業(観光交流センター)</p> <p>【提案事業】 地域創造支援事業(上水道設置 駅北本郷土地区画整理事業地内) 地域創造支援事業(都市ガス設置 駅北本郷土地区画整理事業地内) 地域創造支援事業(上水道整備 江吉良地区) 地域創造支援事業(上水道整備 平方地区) 地域創造支援事業(福寿小学校改修) 地域創造支援事業(上水道設置 駅北本郷土地区画整理事業隣接箇所) 地域創造支援事業(歴史民俗資料館拡充)</p> <p>【関連事業】 岐阜羽島駅周辺バリアフリー化(岐阜羽島駅周辺) インター北土地区画整理事業(インター北地区) 駅北本郷土地区画整理事業(駅北本郷地区)</p>
<p>整備方針2(公園の整備)</p> <ul style="list-style-type: none"> 地区内に公園を配置することで、住民の憩いと安らぎの場を提供する。 公園整備に伴い、草木を植生することで、地区内への緑化を促進する。 児童等が遊ぶことができる広場を確保することで、子育てをしやすい環境を整える。 公園の配置によって、緊急救援活動を円滑に取り組むためのオープンスペースを確保する。 地域住民の公園に対するニーズを反映するためワークショップを開催する。 	<p>【基幹事業】 公園(江吉良・舟橋) 公園(駅北本郷街区公園1号) 公園(駅北本郷街区公園2号) 公園(駅前公園) 公園(舟橋公園)</p> <p>【提案事業】 まちづくり活動推進事業(公園ワークショップ)</p> <p>【関連事業】 インター北土地区画整理事業(インター北地区) 駅北本郷土地区画整理事業(駅北本郷地区)</p>
<p>整備方針3(都市防災の向上)</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域防災計画に避難所として指定されている公共施設について、耐震化を実施することで、災害時における緊急救援活動の場を確保する。 公共施設を耐震化することで、市民が安全に地元活動ができる場を提供する。 都市の防災力の向上に取り組むことで、自然災害や人的災害から市民を守ることができる安全に暮らせるまちを形成する。 生活の快適性向上に資する道路・公園及び施設の整備により、防災面が強化され安全性の高く良好な居住環境が形成される。 耐震性貯水槽及び備蓄倉庫の整備設置により、災害に対応できる施設を充実させる。 道路網の構築・公園の配置等によって整備された公共施設により、緊急救援活動を円滑に取り組むためのオープンスペースを確保する。 防災のハード面強化に併せて、防災訓練等を行うことで、住民の災害対応力を向上させる。 上水道管の耐震化により災害時の上水道の安定供給を確保する。 	<p>【基幹事業】 公園(江吉良・舟橋) 公園(駅北本郷街区公園1号) 公園(駅北本郷街区公園2号) 公園(駅前公園) 公園(舟橋公園) 土地区画整理事業(駅北本郷土地区画整理事業) 地域生活基盤施設(耐震性貯水槽 大西公園) 地域生活基盤施設(耐震性貯水槽 江吉良コミュニティセンター) 地域生活基盤施設(耐震性貯水槽 観光交流センター) 地域生活基盤施設(備蓄倉庫 3箇所) 地域生活基盤施設(公共施設耐震 市民会館) 地域生活基盤施設(公共施設耐震 福祉サポートセンター) 地域生活基盤施設(公共施設耐震 委剣道場) 地域生活基盤施設(公共施設耐震 福寿コミュニティセンター) 地域生活基盤施設(公共施設耐震 堀津コミュニティセンター) 地域生活基盤施設(公共施設耐震 地域交流センター)</p> <p>【提案事業】 地域創造支援事業(福寿地区 防災訓練) 地域創造支援事業(いきいき元氣館耐震補強) 地域創造支援事業(上水道整備 江吉良地区) 地域創造支援事業(上水道整備 平方地区)</p> <p>【関連事業】 インター北土地区画整理事業(インター北地区) 駅北本郷土地区画整理事業(駅北本郷地区)</p>
<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ○事業終了後の継続的なまちづくり活動 公共施設の耐震化により、災害時における防災拠点を確保することが可能となった。今後は、住民主体の防災活動の強化を図る。 土地区画整理事業により、良好な居住空間の形成を達成することができ、今後は人口増加に寄与する施設の誘致等を検討する。 東海道新幹線羽島駅周辺は、岐阜県の玄関口としての交通条件に恵まれた業務系企業が一部立地している。今後は、商業系の企業の誘致を推進することで、商業機能充実を図り、複合的産業空間の創出を図っていく。 	

